

VI. 情報提供

1. 原稿依頼

刊行物名	内 容	執筆者
長崎新聞	研究所から（平成 29 年 7 月 3 日） 陶磁器写真（フォトセラ）の製品開発（変色に強く長期保存可能）	秋月 俊彦
	研究所から（平成 29 年 11 月 5 日） 「陶磁器勉強会を通じた窯業人材育成」	吉田 英樹
セラミックデータ ブック 2017/18	「陶磁器用原料の現状と課題」 （平成 29 年 12 月 7 日発行）	武内 浩一

2. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
技術情報誌 「KAMA(窯)」	<p>研究紹介、技術情報、お知らせ</p> <p>●45号 特集記事・シリーズ ○陶磁器の色を測る技術について 河野 将明 ○釉の硬さと表面傷について 阿部 久雄 ○ユニバーサルデザインについて 桐山 有司 ○デジタル印刷技術について 久田松 学 ○リン回収技術とリン回収ビジネス 高松 宏行 ○産地交流の時代がやってきた 武内 浩一 ○日本遺産のふるさと(その2 三川内焼) 永石 雅基</p> <p>●46号 特集記事・シリーズ ○陶磁器の課題と対策「天草陶石の現状と将来展望」武内 浩一 ○センター活用辞典 ①走査型電子顕微鏡 狩野 伸自 ②遠赤外線分光放射率計 山口 典男 ○多孔質セラミックスと環境・アメニティ製品開発 阿部 久雄 ○陶磁器製造工程の全体を捉える勉強会の紹介 久田松 学 ○日本遺産のふるさと(波佐見焼の窯跡) 永石 雅基</p>	<p>A4判 6 ページ</p> <p>発行月 6月(45号) 1月(46号)</p> <p>発行部数 1,300部</p>
業務報告	<p>○概要(沿革、業務内容、組織、職員配置、決算、土地建物、設備等)</p> <p>○研究業務(研究、発表、産業財産権等)</p> <p>○技術支援業務(技術相談、企業訪問等)</p> <p>○依頼業務(依頼試験、開放設備)</p> <p>○技術者養成(人材養成事業、研修受入)</p> <p>○情報提供(原稿依頼、刊行物等)</p> <p>○その他(意見交換会、一般公開等) 【資料】窯業・土石製品出荷額</p>	<p>A4判 37 ページ</p> <p>発行月: 6月</p> <p>発行部数: 300部</p>
研究報告	<p>○経常研究 2件 「陶磁器の表面改質に関する研究」吉田 英樹、武内 浩一 「機能性素材を活用した水質浄化装置の製品化に関する研究」狩野 伸自・永石 雅基</p> <p>○研究マネジメント FS 1件 「各種排液からのリン回収可能性調査」高松 宏行</p> <p>○受託研究 1件 「休廃止鉱山中和殿物を原料とする脱硫化水素剤の開発」阿部 久雄・木須 一正</p> <p>○新製品・新技術共同開発事業 1件 「廃石膏のリサイクルに関する基礎的検討」山口 典男</p> <p>○技術人材養成事業 1件 「透明釉の表面状態と傷の形成について」阿部 久雄</p> <p>○学協会誌等からの転載 5件</p>	<p>A4判 59 ページ</p> <p>発行月: 11月</p> <p>発行部数: 220部</p>

3. ホームページによる業務紹介

目 的	窯業技術センターの業務や活動内容を多くの人々に周知する。
ア ド レ ス	http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/
アクセス件数	<p>トップページへのアクセス数: 11,433件</p> <p>総アクセスページ数: 31,177件</p> <p>期間: 平成29年4月1日～平成30年3月31日</p>